

神奈川ウォーキング参加 H24-04

# 相模新西国三十三観音札所巡りーVI 「煩惱・乞う・希う」菩薩と二人旅

日時：平成24年9月15日(土) 集合小田急秦野駅 10:00

コース：秦野駅前(バス) 10:10 → 下大槻南平 → 三十番「光西寺」 → 三十一番「観音堂」 → 秦野駅  
(小田急) 渋沢駅 → 「魚作」(昼食) → 渋沢駅(小田急) → 秦野駅 → 三十二番・三十三番「大岳院」  
(千手院・光明寺) → 自治会集会場 → 秦野駅

参加者：【1班】GL岸田・山浦和(総括L)・平山SL・野中(講師)・吉越・青松秀・沢崎・鈴木徳  
・内田絵・伊藤真 10名 【2班】大貫GL・濱崎・栗本・関根・藤崎・山浦レ・青山・神谷  
・安藤・山内 10名 合計20名

天候：猛暑(一時小雨ぱらつくも直ぐ晴れる) 15,000歩 約10km  
(伊藤自宅含め16,000歩 約11km)

資料は平塚観光協会「相模札所巡り」や寺院HPから引用させて頂きました

平成24年1/24(火)第I回から始めた「相模新西国観音札所巡り～菩薩と二人旅」も今日第VI回で結願最終回です。冠雪の菜の花と大山を眺めながら、吾妻山で山浦レさんと青山さんの「オカリナ」演奏を聴き、スタートしたのが思い出されて、連日行事予定の中日でしたが参加しました。三十三番札所完結達成6人との事ですが、御朱印帳も記念になる事でしょう。小生第IV回5/17(木)は「おとこの台所10周年記念熱川温泉一泊旅行」の幹事をやっており参加出来ず残念でした。

秦野駅で山浦Lと平山SLから資料を戴き、岸田GL・大貫GLに会費¥1,500を支払い、予定通りの10:10発のバスに乗る。前回は学生さん達が沢山並んでいましたが、今日は3連休の初日土曜日の為か少ない。今日は弁当も要らず、書類・水・カメラ等出し入れし安いショルダーバックで助かります。



下大槻南平橋 (なんぺい橋と読む、<sup>はだの</sup>秦野語は難しい)



で降り、<sup>かなめかわ</sup>金目川を<sup>なんぺい</sup>南平橋で渡り暫く歩くと「光西寺」到着。



①三十番札所 <sup>おおつきさん</sup> 大槻山「<sup>こうさいじ</sup>光西寺」曹洞宗 如意輪観世音菩薩

1632年大翁禅師開山。中古には「大月」と称し金目川の沿岸工事「大築」→「大槻」→「大槻山」の由来



鈴木さんの  
ストレッチ

「脇掴み揉み」の御指導



如意輪観世音菩薩



光西寺から三十一番札所「観音堂」に向う。道のりは長いが稲刈りが近い稲穂や、青いミカン、草花を見ながら里道を気分良く歩く約4 km。本日一番長いウォーキングです。傘は日よけ猛暑対策です。 P 2



↑珍しい六角地像 (野中先生) ↓自然が作りだす?素晴らしい活け花&大木の中を歩く↓



百日紅  
がまだ  
満開で  
す



←室川の飛び石渡りに  
チャレンジの熟女、皆さ  
んまだ若い!



丹沢連峰と室川を背景にKWCお徳の隊列ポーズで集合写真



太平洋戦争時に塗られたと思われる黒い倉が痛ましい

②三十一番札所 白雲山 「上宿観音堂」 天台宗 千手観世音菩薩（行基作） ↓



本尊は開帳されておらず、代わりに↑写真が飾られており管理は自治会長さんがされております。自治会長さんの御話を聴く。



**白雲山上宿観音堂由来**

通称 白雲山上宿観音堂は「厚運・厄除けや「子授け、安産を祈願して信仰中心の周辺付近の住民によって建立され、その後市内・龍門寺持ちとなり現在に至つております。」

御本尊として「千手千眼観世音菩薩」が奉安されており相模新西国三十三番札所となつております。

**由来** 本堂内のお厨子には「千手千眼観世音菩薩」の木像が奉安されており、行基の件と云うのが通説となつております。

**創建** 本堂の創建についても確たる年代は判然としておりませんが、次の諸点を勘案すると、寛政年間にはその原形が現在地に存在したと推定されます。

一、観音堂の参道入り口にあった半鐘の銘と、寄進された「御神籤」の筒にそれぞれ寛政の年号が記されている。

二、市史編纂室蔵にある天保六年の十日市場の古絵図には「観音堂」がはっきりと記されている。

三、本堂の構造で、柱・化粧梁・木鼻等が社寺建築の文献によると江戸時代の造りであると思われる。

緑日 緑日は毎年八月九日の「四万八千日法要」と十二年一度五年に行われる「御開帳法要」があります。

平成二十一年三月吉日 上宿自治会



建長寺の彫り物の写真、表と裏↓



観音堂を後に途中、社の屋根の学習をし、「水無川」を渡り秦野駅へ

↑ 観音堂で集合写真20人全員撮影出来ました（お参りの人にお願ひ）

③ 昼食「魚作」（秦野駅から1駅、小田急渋沢駅から約1kmの処）事前に3種類予約の料理



13:00~14:10

←伊藤注文の「ちらし丼」美味しく戴きました。今日は三連休の最初の土曜日お客さん満員大忙し。料理出るまで、ちょっと喉潤し。食後のデザートも注文された人も。平塚観光協会馬場一夫さん「相模新西国三十三観音札所巡り」アンケート調査実施、今後の参考資料とされたいとの事。 P5

④三十二番札所 亀王山「太岳院」【千手院】曹洞宗 聖観世音菩薩  
 三十三番札所 亀王山「太岳院」【光明寺】曹洞宗 十一面観世音菩薩

開基は小林正永で、1541年大通梵伊和尚を招き開山。

小林は北条氏に仕えて勢力を伸ばし、不老長寿の「亀」と富士山「太岳」を寺名に入れて、亀王山「太岳院」と称したようです。

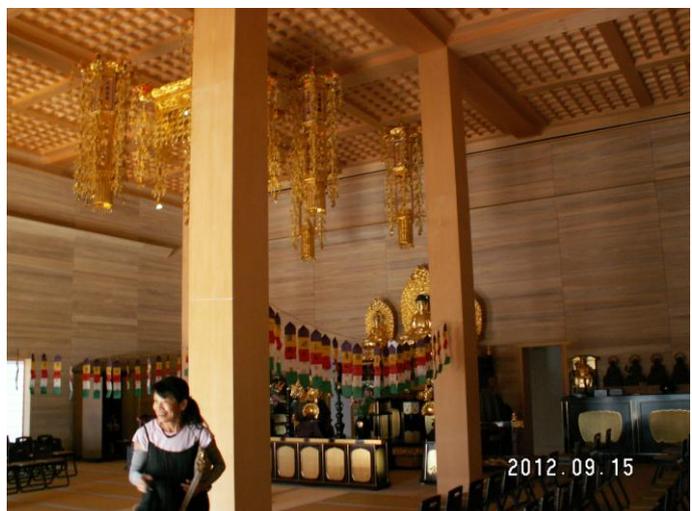


↑昼食「魚作」正面玄関入り口  
 ←入り口門はお粗末であるが、本堂は文化勲章受章建築家、安藤忠雄の設計による超近代的寺院です。



↑院内のプラモデル

さるすべり 百日紅 (一度咲いた枝先から再度芽が出て花を付けるため100日間咲き続ける様に見える。一度散った赤い花びらの絨毯に立つ熟女、菩薩の様で写真最高ですお試しを)



↑三十二番「聖観世音菩薩」

↑三十三番「十一面観世音菩薩」

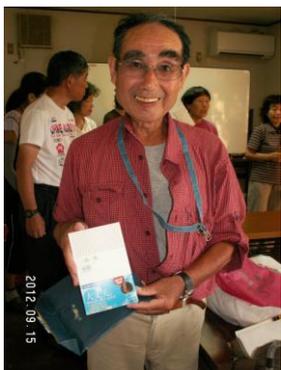
↑本堂内



←  
 ガラス窓の外は池に囲まれ、内側から見ると波がこの様に綺麗な模様になって見える。流石です。

⑤自治会集会所 (太岳院のすぐ前) 15:00~16:00

相模新西国三十三観音札所巡り結願会 【述べ参加人数165人】【三十三札所完結者表彰6人】



↑完結者6人からお岸田さん代表で主催者3人(山浦・平山・野中)へ「一日一生」の本贈呈

↑鈴木さんから野中さんへ手作り腰枕2ヶ進呈「腰痛良くなりますよ！」

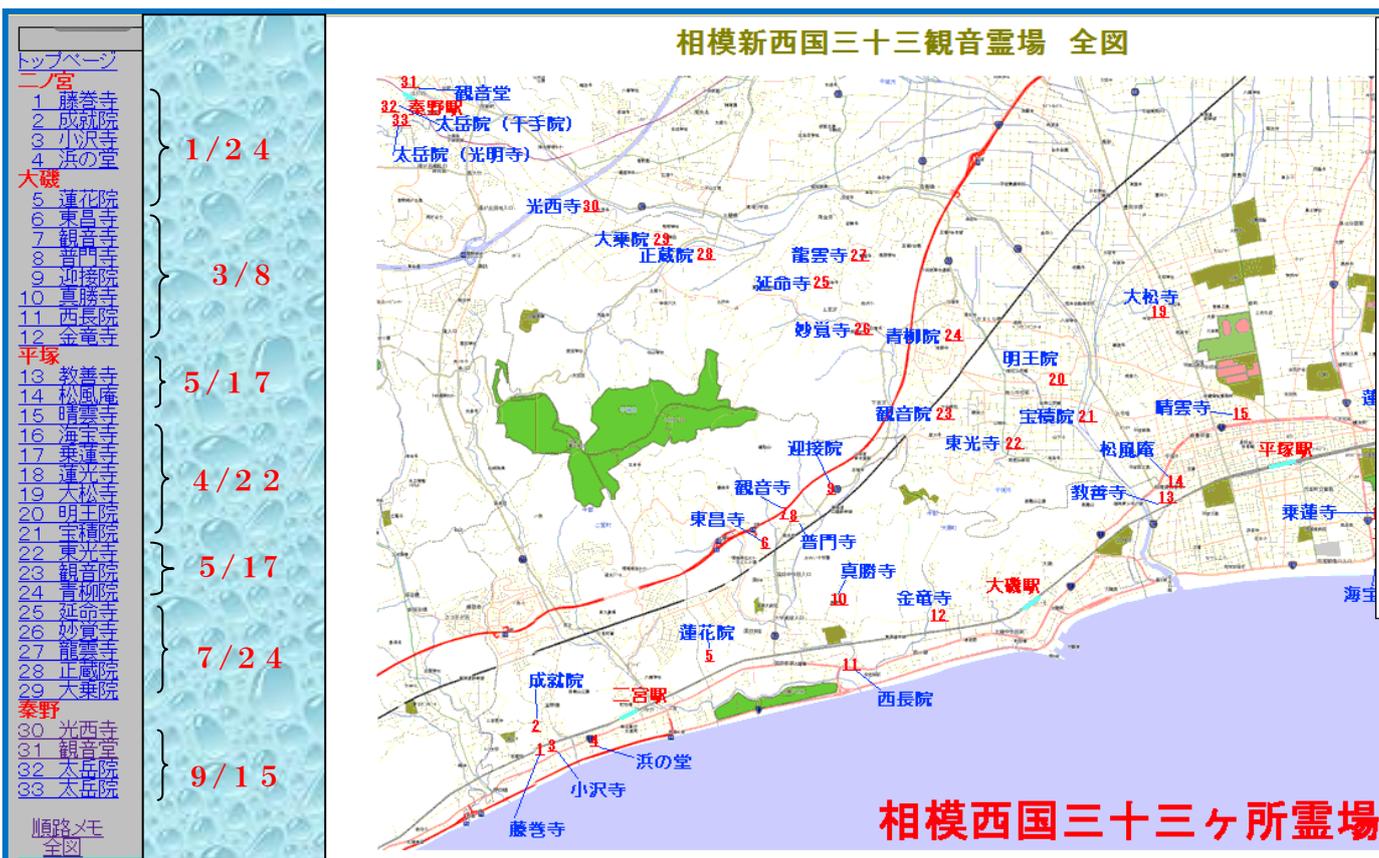


⑥アフターウォーキング 秦野駅前「うどん屋さん」16:00~19:00



タバコ祭の  
提灯が飾ら  
れた秦野に  
お別れ

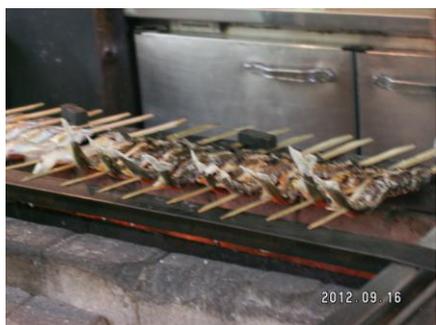
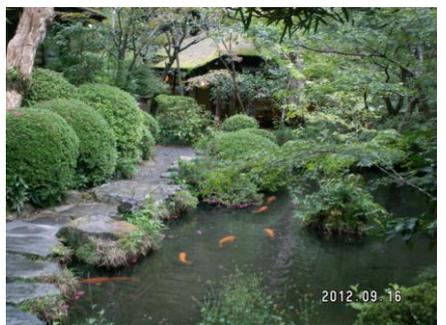
総括編 (第I回1/24~第VI回9/15)



**編集後記：**山浦・平山・野中御三方の企画、下見準備、折衝に先ずは深くお礼申しあげます。野中さんには仏像（如来・菩薩・明王・天・羅漢）七観音（聖観音・千手・十一面・馬頭・如意輪・不空罽策・准胝）六地像（修羅・天上・畜生・人間・餓鬼・地獄）についての学習、資料を含め判り易く解説して戴き有り難うございました。仏様の世界も奥が深く、独特な仏字も多く、HP作成にも少々苦勞しましたが、ボケ防止にも良い勉強になりました。御一緒に参加されました皆さんにも厚くお礼申しあげます。

## 番外編

翌日9/16(日) 敬老の会を3家族で高尾山「奥高尾の隠れ里～うかい鳥山」に行ってきました。高尾山には4～5回登っていますが、「うかい亭」は眺めるだけで初体験。満席で法事のグループも多く、料理はさておき自然を利用した離れ茶屋と庭が素晴らしい。五箇山から移設した合掌作りもあり、五箇山に行かなくても味わえます。献立は¥4,730から有り、法事などで一度体験の価値はあります。グループ12店の発祥店。



この合掌造りは越中五箇山で  
移築し今から元々四百五十年  
前の建築でクリカラ峠の戦で  
本曾義仲に敗れた平家の末裔  
か建たもので本造建築様式と  
しては日本最古のものです  
釘鋸等は一切使わず全て榎  
素縄ねぞ榎科の木等て結  
束し二階三階と造り上げあります

←↑五箇山合掌作り(1・2階客間、  
2・3階資料)

孫がおり、ケーブルで登り「薬王院奥の院」まで歩き参拝。後15分で頂上ですが皆さんお疲れでここまででした。それにしても人出が多い。なぜだろうと思いきや……。ケーブル頂上駅に行列整理券。「ピアマウント」が7/5オープンした為と思われる。7/5～10/8、平日15:00～21:00、土・日・祭日13:00～21:00飲み放題、食べ放題2hrで¥男3,300、女¥3,000。ウォーキング族には?登山ウォークのアフターウォークで夜景を見ながらも良いが……。参考までに。

17:00ケーブルで登山入り口「ピアマウント受付締切りました」の掲示板。少し景気が良くなれば良いのですが……。「日中」「日韓」「総裁選」良い方向で治まる事を祈願しながら失礼します。